

町の無料相談

相談種類		日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ
法律相談	弁護士	1/14(火)、1/27(月) 2/12(水)、2/25(火)	13:30～16:00	役場会議室	役場総務課☎④313（要予約）
	行政書士	1/15(水)、2/19(水)	10:00～15:00	役場会議室	役場総務課☎④313
人権・行政相談		1/9(木)、2/13(木)	13:30～16:00	役場会議室	役場総務課☎④313
成人健康相談		1/7(火)	10:00～11:00	保健センター	保健センター☎294-5511
		2/3(月)	10:00～11:00	役場1階町民ホール	
電話健康相談		平日	9:00～17:00	保健センター☎294-5511	
育児ほっと相談室		1/22(水)、2/19(水)	10:00～11:00	保健センター	保健センター☎294-5511
もの忘れ相談会		毎月第3木曜日	10:00～12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎295-2112④126
子育て相談 なんでも話してみよう		平日 ※オンライン相談あり	10:00～15:00	役場相談室 子育て支援センター	子育て支援センター ☎294-4820（要予約）
教育相談		平日	10:00～16:30	教育センター☎295-2525（電話相談可）	
心配ごと相談		平日	8:30～17:00	社会福祉協議会（毛呂山町川角303-3）☎295-0601	
消費生活相談		毎週月・火曜日	10:00～15:00	役場相談室	役場産業振興課
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外		平日	8:30～17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 （社会福祉協議会内）☎080-2274-1445	

歴史散歩

第367回

干支の動物「巳」のはなし

～毛呂山の蛇にまつわる伝承～

令和7年の干支は「巳」です。巳は十二支の6番目に位置する「蛇」のことです。蛇は毛呂山で今も見かける生き物ですが、昭和初期ごろはもっと身近で、蛇にまつわるさまざまな伝承が残っていました。毛呂山でよく見られた蛇はアオダイショウ、ヤマカガシ、マムシなどで、蛇のことを長虫（ながむし）と呼ぶこともありました。毛呂山に伝わる蛇の伝承をご紹介します。

大切にされた蛇

アオダイショウは「先祖のお使い」「家の守り神」と言われ、家に入ったり、茅葺屋根にいたりしても、大切にしなければならぬ、また尻尾の切れた蛇は仏様だから大事にするようにと言われていました。

蛇の抜け殻を財布に入れておくとお金に困らないという伝承もありました。特にヤマカガシの抜け殻はめったに見つからないので珍重されました。蛇はとかく金運と結びつくことが多く、臼の中に蛇が入っていると家計が楽になると言われたそうです。

天気の子兆

蛇は天気の子兆も知らせると言われています。干ばつの時に蛇が堀から上がってくると大洪水があると伝えられていました。

蛇を避ける方法・おまじない

蛇は藍を嫌うため藍染めの布で手足を覆うといった工夫のほか、おまじないを唱えることも多かったようです。おまじないは「南無池鯉鮒（智龍）大明神」といいました。池鯉鮒大明神とは愛知県知立市の知立神社のことです。江戸時代から虫（蛇のこと）除けの神社として全国から参詣者があつたそうです。

榛名講と蛇

毛呂山には年1回、榛名神社（群馬県）に参詣し、嵐除けの御札をいただく榛名講が、戦後まで盛んに行われていました。榛名山の榛名湖には龍神が住むという言い伝えがあり、龍神は蛇神とも考えられています。榛名講は龍（蛇）神の霊験を授かる意味もあつたといえるでしょう。

このように蛇は、恐れられながらも大事にされてきた特別な生き物だったといえます。今年は巳年にちなみ蛇に注目してみたいかがでしょうか。

榛名神社養蠶御祈禱

「榛名神社の養蠶の御札」

蚕を食べる鼠を防ぐため、鼠を食べる蛇・猫・ムカデも養蚕の守護者として祀られました。